

PROPEL

もっとボートレースを



2016.3 MARCH

ボートレースPRニュースレター【プロペル】



Change yourself 己を変える

BOAT RACE CITY

51st ボートレースクラシック

BOATRACE CLASSIC

BOATRACE 平和島 3/16 WED 17 THU 18 FRI 19 SAT 20 SUN 21 MON

日本財団の紹介



日本財団に関する情報はこちらから ▶ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

日本財団会長 笹川陽平ブログ ▶ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。年の三分の一を海外活動に充て、海外情勢や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。



全国のボートレース場紹介



BOAT RACE 平和島

都心や羽田空港から近く、公共交通機関でのアクセスがよい好立地。観戦スタンドは4階建てで、1・2階が無料の立見席、3階が無料の屋内一般席、4階は有料指定席で、専用モニターのある一人席とモニター付きのペアシートとなっていて、フリードリンクの他無線LANが利用できます。またスタンド内1階には7つの飲食店があり、自慢のグルメが楽しめます。

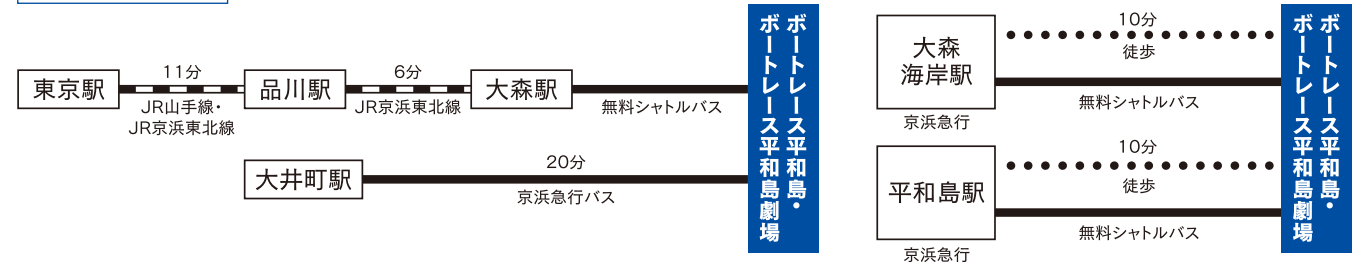
併設された「ボートレース平和島劇場」では、300インチの大画面でレースが観戦できます。1階が無料のフリースペース、2・3階が有料席で、4階はラグジュアリーな特別有料席のエクセレンスクラブとなっており、フリードリンクに加え、専門紙のサービスがあります。

また、近隣のレジャー施設「BIG FUN HEIWAJIMA」には24時間営業の「天然温泉平和島」もあり、レース開催中であればレース場と最寄駅を結ぶ無料シャトルバスを利用することで、気軽に訪れることができます。

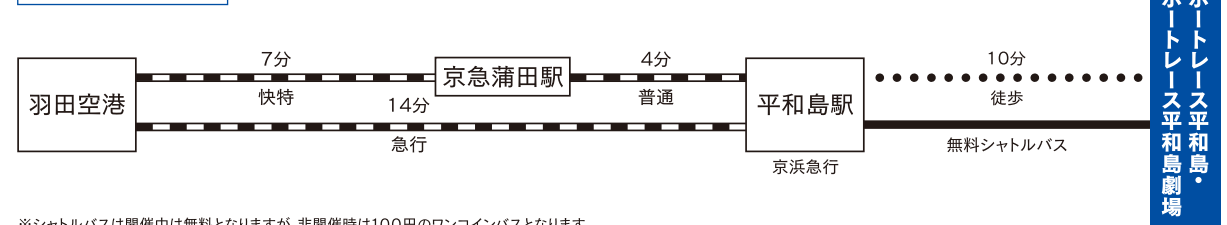
ADDRESS

住所:東京都大田区平和島1-1-1 TEL.03-3768-9200

電車でお越しの方



飛行機でお越しの方



※シャトルバスは開催中は無料となりますが、非開催時は100円のワンコインバスとなります。

取材お申し込み・お問い合わせはこちらまで



〒108-0073 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館

TEL 03-3451-0501 FAX 03-3451-0429

BOAT RACE振興会HP ▶ <http://www.boatrace-pr.jp/>

BOAT RACEオフィシャルWeb ▶ <http://www.boatrace.jp/>



「ISO/IEC27001:2005」を認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、全部門を対象とした情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)の国際認証基準「ISO/IEC27001:2005」を認証取得いたしました。

有力レーサー PICK UP



濱野谷 憲吾

KENGO HAMANOYA
1973年生まれ 1992年デビュー

地元東京出身の人気レーサーで、平和島で開催された2007年のクラシックでは優勝を果たした。「水上のファンタジスタ」と呼ばれ、漫画「モンキーターン」の主人公のイメージモデルでもある。豪快なスピードターンが魅力。



峰 竜太

RYUTA MINE
1985年生まれ 2004年デビュー

ターンのスピードがすばらしくファンを湧かせる人気レーサー。モンキーターンと呼ばれる旋回時の独特のフォームは一見の価値あり。逆境に強いなど強靱な精神力を持つ一方で、涙もろい一面も。



山崎智也

TOMOYA YAMAZAKI
1974年生まれ 1992年デビュー

ボートレース界の貴公子といわれるイケメンレーサー。ルックスだけでなく実力も折り紙つき。数々のビッグタイトルを獲得するなど、長年に渡り安定した成績を残すベテラン。2012年、2015年にグランプリ優勝。



川野 芽唯

MEI KAWANO
1986年生まれ 2007年デビュー

2015年末のクイーンズクライマックスでGI初優出初優勝を決め、今回のボートレースクラシックでSG初出場を実現した、今勢いのあるレーサーの一人。趣味はソフトボール。



池永 太

FUTOSHI IKENAGA
1985年生まれ 2005年デビュー

ボートレースのエンジン音とスピードに魅了されてボートレーサーに。2015年9月に念願のGI初優勝を果たす。好調の波に乗って初出場を決めたクラシックでは主役の座をめざす。



51st ボートレースクラシック  **BOAT RACE CLASSIC**

春の水しぶきを上げて、2016年のSGレースがスタート!
都心に近い東京ベイエリアで熱いバトルが展開される!

特集 **BOAT RACE 平和島** 3/16 WED > 21 MON

SG第51回 ボートレースクラシック

プレイバックチャンピオン



2013年 池田 浩二 KOJI IKEDA



2014年 松井 繁 SHIGERU MATSUI



2015年 桐生 順平 JUNPEI KIRYU

2015年のボートレースを盛り上げてくれた主役たち

全国のレース場でファンを楽しませてくれるボートレーサーたち。その中でも1年を通して活躍したレーサーは誰か。約1,600人のボートレーサーの中から今年も6部門での優秀選手が決定した。

最優秀選手
最多賞金獲得選手

山崎
智也
TOMOYA YAMAZAKI



今回の受賞も、嬉しく思っています。前回の受賞(2012年)の前に結婚し、今回の受賞前には子どもが生まれており、改めて自分はイベントに強いのだなと感じました。今年の目標は、グランプリで6位以内に入ることです。最近は関東勢の頑張りも見えてきているので、これからどんどんみんなでSG・GIなど大きなレースで活躍していきたいです。

ボートレースオールスター、グランドチャンピオン、グランプリの3つのSG競走を優勝。獲得賞金1位で獲得額229,330,000円を達成。

最多勝利選手
最高勝率選手

峰
竜太
RYOMA MINE



前回(2006年)は最優秀新人選手賞、今回は最高勝率選手・最多勝利選手と2つの賞をいただき、とても嬉しいです。今後は残る全ての賞の受賞を目指していきたいですが、まずはグランプリで優勝を目標に頑張ります。

最も高い勝率8.59と最も多い1着回数136回を記録。

最優秀女子選手

寺田
千恵
CHIE TERADA



以前優秀女子選手をいただいた時(2000年、2001年、2007年)と比べて、今回46歳になってからの受賞は自分にとってもすごく意味があると思っています。嬉しさはもちろんですが、重たさも感じています。これからの気持ちも忘れず、頑張っていきます。

年間8回優勝、女子選手の中で獲得賞金1位。

最優秀新人選手

村上
遼
RYO MURAKAMI



率直に、すごく嬉しいです。この1年は、この賞を目指して頑張ってきました。今後も日々努力を積み重ねて、いつか最優秀選手賞を受賞したいと思っています。

3年以内の新人選手の中で勝率、1着回数1位。

白熱のボートレースを見せてくれる アグレッシブな若き水上の戦士たち

未来のボートレース界をにう若手選手の強化・育成を目的に2009年から行われている「スター選手育成制度」。スター候補は選手登録6年以内の有望な若手選手から選ばれ、能力別に全国・地区・地元・準地元の4ランクに分類される。特に、若くして既にSG競走出場などの実績を持つ「全国スター候補」と若手の中でも勝率の高い「地区スター候補」は今後の活躍が期待される。



2016年 全国スター候補



岩瀬 裕亮

YUSUKE IWASE

1988年生まれ 2010年デビュー

やまと学校をトップの成績で卒業するなど、デビュー前から卓越した実力を発揮しているレーサー。2013年には最優秀新人に選出。2014年からは3年連続全国スター候補に選出されている。ターン時の体重移動や、ボートと選手の一体感が、ボートレースの魅力だという。



村上 遼

RYO MURAKAMI

1992年生まれ 2012年デビュー

ボートレース発祥の地・長崎を代表する期待の星。抜群のコーナースピードを誇る。アグレッシブなレース展開が持ち味で、デビュー2ヶ月後には初勝利をあげ、2015年11月にはボートレース戸田にて初優勝を果たすなど、着実に実力をつけている。2015年の最優秀新人に選出された。



2016年 地区スター候補



荒井 翔伍

SHOGO ARAI

【関東】



上村 純一

JUNICHI UEMURA

【関東】



松尾 拓

HIROMU MATSUO

【東海】



谷川 祐一

YUICHI TANIGAWA

【近畿】



小野 達哉

TATSUYA ONO

【近畿】



木下 翔太

SHOTA KINOSHITA

【近畿】



森野 正弘

MASAHIRO MORINO

【中四国】



島村 隆幸

TAKAYOSHI SHIMAMURA

【中四国】



高田 明

AKIRA TAKADA

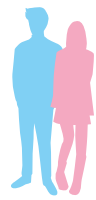
【九州】



江崎 一雄

KAZUO EZAKI

【九州】



2016年注目のイケメン&美女レーサーは!?

ボートレース界は実力派のイケメン&美女が目白押し。今年もまたブレイクを予感させる選手たちをピックアップ。



深谷 知博

TOMOHIRO FUKAYA

1988年生まれ 2008年デビュー

ボートレーサーになった高校の先輩に憧れてレーサーになった。武器は鋭いハンドルからの差し技。特に全速ターンからのまくり差しは、名刀の切れ味を思わせる。目標はグランプリに出続けること。



今井 美亜

MIA IMAI

1990年生まれ 2010年デビュー

2016年1月の平和島で開催された「パトルーナメント」でGI優勝経験もある格上の男子レーサーたちを跳ねのけて優勝。高校時代はカヌー選手として活躍し、国体3位という成績を残している。



守田 俊介

SHUNSUKE MORITA

1975年生まれ 1994年デビュー

デビューから2年10ヶ月でSGに出場するなど天才肌のレーサー。ボートレースダービーの優勝賞金3,500万円を東日本大震災の被災地に全額寄付した。ニックネームは「きもりやん」。



滝川 真由子

MAYUKO TAKIKAWA

1987年生まれ 2008年デビュー

静岡大中退の「高学歴レーサー」。ルックスはボートレース界を代表する癒し系。その一方ですでに優勝3回。2015年にはレディースチャンピオンでデッドヒートで征しGI初優勝を飾るなど実力も本物。

水上の格闘技にもいるいる「意外な経歴のレーサー」

日々水上で観客を湧かせているボートレーサーたちの中から、驚くような経歴や過去を持っているレーサーをピックアップ。



吉崎 悠司

YUJI YOSHIZAKI

1987年生まれ 2014年デビュー

東京学芸大学卒業後、東京都職員を経てボートレーサーに転進。安定した公務員からボートレース界に飛び込んだ理由は「勝負ごとが好きな自分の性格に向いている」からとか。



みどころ&おしごと満点!



ボートレース広報のおススメ

東京都大田区の東側に位置する平和島。戦後、平和への祈りを込めて「平和島」と呼ばれたことがそのまま地名になったとの説も。羽田空港へのアクセスが抜群なのも大きな特徴です。



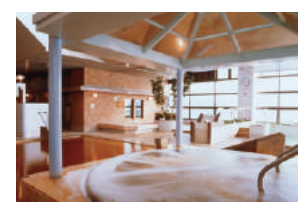
日蓮聖人入滅の霊場 池上本門寺

日蓮聖人が入滅の地に選んだ700年以上の歴史を持つ寺院。関東最古の五重塔をはじめ、日蓮聖人の像など日蓮聖人の遺徳を偲ぶ建物が揃っています。



おススメ場内グルメ①

フードテラス ビースター「ビースター麺」 800円(税込)
酸味の効いた旨辛なスープに細め縮れ麺がベストマッチングな一品。白菜や椎茸、細切り肉など具だくさん。



癒し空間で至福のひと時を 天然温泉 平和島

ボートレース平和島直結の「BIG FUN HEIWAJIMA」内に位置する天然温泉。地下2,000mから湧出する湯量は1日に150tと都内屈指。



おススメ場内グルメ②

本陣 モツ煮&炊き込みおにぎり
モツ煮 500円 おにぎり(3ヶ) 150円(税込)
平和島を代表する味「モツ煮」。じっくり煮込まれたトロトロになったモツとおにぎりの相性は抜群。

2016年 SG・プレミアムGI開催日程

ボートレース界の頂上をめざして熱いバトルが始まった!

SG

ボートレースクラシック

開催日 3/16(水)~21(月・祝)
開催場 平和島(東京都)
優勝賞金 3,500万円



ボートレースファンに春を告げるレース。前年のSG・GI優勝者のほか、優勝回数上位のレーサーなどが出場。

ボートレースオールスター

開催日 5/24(火)~29(日)
開催場 尼崎(兵庫県)
優勝賞金 3,500万円



ファン投票で選ばれたレーサーが出場する。人気と実力を兼ね備えたトップレーサーの戦い。

グランドチャンピオン

開催日 6/21(火)~26(日) ナイター
開催場 蒲郡(愛知県)
優勝賞金 2,500万円



前年度のSG優勝戦走者など、トップレベルのレーサーが出場する。

オーシャンカップ

開催日 7/13(水)~18(月・祝)
開催場 鳴門(徳島県)
優勝賞金 2,500万円



国民の祝日「海の日」の制定を記念して誕生したレース。GIで活躍したレーサーが出場する。

ボートレースメモリアル

開催日 8/23(火)~28(日) ナイター
開催場 桐生(群馬県)
優勝賞金 3,500万円



各レース場の推薦を受けたレーサーが出場し、地元の威信をかけて競う。「ボートレース界の甲子園」とも言われる。

ボートレースダービー

開催日 10/25(火)~30(日)
開催場 福岡(福岡県)
優勝賞金 3,500万円



一番長い歴史を持つSGレース。過去1年間の勝率上位者が出場し、最も権威ある競走と意識するレーサーも多い。

チャレンジカップ

開催日 11/22(火)~27(日)
開催場 大村(長崎県)
優勝賞金 2,500万円



グランプリ出場をかけた最後の大一番。10月末までの獲得賞金が上位のレーサーが出場する。

グランプリ

開催日 12/20(火)~25(日)
開催場 住之江(大阪府)
優勝賞金 1億円



獲得賞金上位18名が出場する。その年のナンバー1レーサーを決める、ボートレース界最高峰のレース。

プレミアムGI

マスターズチャンピオン

開催日 4/12(火)~17(日)
開催場 びわこ(滋賀県)
優勝賞金 1,000万円



ベテランレーサーのチャンピオンを決める。オールドファン必見のレース。年間20回ほど開催される女子戦「GIオールレディース」の優勝者などが出場する。

レディースチャンピオン

開催日 8/2(火)~7(日)
開催場 津(三重県)
優勝賞金 1,000万円



女子レーサーのみで競う華やかなレース。年間20回ほど開催される女子戦「GIオールレディース」の優勝者などが出場する。

ヤングダービー

開催日 9/20(火)~25(日)
開催場 常滑(愛知県)
優勝賞金 1,000万円



30歳未満のレーサーのうち、勝率上位者が出場する。若手同士がぶつかる、SGへの登竜門。

クイーンズクライマックス

開催日 12/28(水)~31(土)
開催場 平和島(東京都)
優勝賞金 1,000万円



獲得賞金上位12名の女子レーサーが出場。女子レーサーのトップを競う大晦日の決戦。